

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20478
事業名	子宮がん検診費					
評価担当課	所 属	保)ウェルネス ウェルネス推進			電話番号	011-211-3514
施策名	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	1 札幌市子宮がん検診 厚生労働省の指針に基づき実施。国の「がん対策推進基本計画」と同様に第2次札幌市がん対策推進プランにて、子宮がん検診受診率60%を目標としている。 2 がん検診総合支援事業 個別郵送することにより、これまで検診を受けたことがない市民に対しては検診の重要性と初めて検診を受ける後押しやきっかけとなる。また受診経験がある市民に対しても正しい知識の普及と継続的な受診の呼びかけにつながるため、受診率の向上に有用な事業である。国による全国統一の事業であるため、本市においても実施する必要がある。
	事業内容(何を実施し)	1 札幌市子宮がん検診 市内在住の20歳以上の女性(原則、偶数歳)へ、問診、視診、子宮頸部の細胞診(一定の条件に該当する方は、子宮体部検査も実施)を実施 2 がん検診総合支援事業 がんに関する正しい普及啓発や受診促進を図ることを目的として、基準日時点で対象年齢の方に子宮頸がん検診を無料で受けることができるクーポン券と検診手帳を個別に郵送する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	子宮がんの予防及び早期発見と市民の健康保持への寄与。
	他都市の状況	各政令指定都市でも子宮がん検診を実施している。また、自己採取HPV検査についても、自治体の独自事業として実施している市町村がある。
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	515,186 千円	うち特定財源	1,103 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	488,104 千円	うち特定財源	959 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	502,984 千円	うち特定財源	770 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	525,911 千円	うち特定財源	801 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	受診者数(人)				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		84,065	86,270	84,950	79,216	81,790		
	↓							
	アウトカム成果指標1	受診率(%)〔偶数歳検診＋クーポン券〕				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		17.1	17.4	17.8	15.9	16.9		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	受診者数、受診率ともにR5はわずかに目標値に届かなかったが、前年度(R4)や、コロナ前(H30・R1)の実績を上回っている。引き続き子宮がんの予防及び早期発見と市民の健康保持への取組みを継続する。						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	
来年度以降の方向性	子宮頸がん検診無料クーポン券や、未受診勧奨はがき、再勧奨はがきについて、ナッジ理論に基づいたデザインに変更し対象者への受診への動機づけを行う。また「札幌市がん検診受診体制整備事業」において、WEB広告による普及啓発を行うことで若年層の受診率向上を図る予定。